

加須市農業の再生

米価の安定対策を

答弁…米価の動向については、大きな危惧を持っており、加須市の農業の状況を国に訴えていく姿勢が必要であると考えております。今後も様々な策を講じて加須市の米づくり農業が持続発展できるようにしてまいります。

佐伯 由恵 議員

佐伯 今、埼玉一の米どころである加須市は最大の危機に直面しています。農家の方は、このままでは昨年同様、今年も米価の大暴落は免れないと危惧しています。市の基幹産業である農業が衰退すれば、地域経済にも影響を及ぼします。

米価の安定対策については、過剰米を市場から隔離し、国が価格と需要に責任を持つことが大切であると考えます。

農家の方が、安心して米づくりが続けられるように、県内一の米どころの市長として、農家の声を国に届けて、米価の安定対策に力を尽くしていただきたいと思いますが、考えをお伺いします。市長 米価の動向について、

介護保険事業

特養ホーム増床を確実に なもものに

答弁…増床計画については、多くの事業者に加須市内における特別養護老人ホームの整備に手を挙げていただけるように最大限の努力をしてまいります。

小坂 徳蔵 議員

小坂 本市では、特別養護老人ホーム不足の解消を目指し、第6期介護保険事業計画の期間に、新たに160床の増床を計画しております。市は、ホームページ上に160床の増床計画を掲載し、事業者は埼玉県の高齢者施設の整備方針や計画書の提出期限等にリンクできるようなっています。

この増床計画を受けて、市内で増床を希望する施設事業者と埼玉県の7月下旬頃まで協議を進め、県の審査委員会の審査を経て、来年度から補助申請の手続きに入るスケジュールのようであり

特別養護老人ホーム160床の増床が確実に実行できるかどうかは、

議案等に対する討論

本会議において、採決の前に、議案等に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

平成27年度一般会計 補正予算(第2号)

反対討論

本案の中で、個人番号カード交付等事業に関しては、容認できません。住民票を持つている全ての人々に対し、新たに12桁の番号を付番し、国家が国民を管理する仕組みをつくらうとする制度ですが、問題は、12桁の番号により個人情報紐づけられることから、個人番号が漏えいすれば、大量の個人情報漏えいすることになることです。

今、大きな社会問題となっている年金の個人情報漏えいの問題もあり、情報漏えいや、なりすましによる犯罪が懸念されています。市民の個人情報をしっかり保護する立場から本案に反対するものです。

賛成討論

本案を全体的にみると、加須市の元気な地域づくりのため、「地方創生」・「安心」・「安全」・「子育て」・「健康」など市のそれぞれの重点分野の中で、緊急性を持つものや、国・県の補助が活用できるものについて編成した補正予算になっており、適正かつ適時の内容となっております。

いわゆるマイナンバー制度導入については、万全のセキュリティ対策の徹底を望みますが、雇用の創出と地域経済の活性化を図る事業や、今後の農業の活性化を図る上で重要な事業の経費も計上されており、適切な補正予算であることから、本案に賛成するものです。